

授業改善等に関する報告書（2021 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（前期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
特殊演習 1	舟見一哉	回答数が少なく、分析ができない。入力周知徹底につとめたい。
漢文学基礎講読 a	田中靖彦	今学期は対面とオンデマンドが混在する授業となりました。授業に対してはおおむね高評価をいただけて、大変うれしく思いますが、この分野をさらに学びたいと思う方がやや少なめであったことは、本授業で漢文学の面白さをお伝えするのが足りなかったと反省しております。ふさわしい授業形式については、対面と回答された方と、オンデマンドと回答された方、いずれもいらっしやいました。全員の希望にお応えするのは難しい面もございますが、できるだけ皆様のご意見を取り入れた授業を行ってまいりたいと思います。後期授業も何卒よろしく願い申し上げます。
Seminar on Global Studies	ブルナ, ルカーシュ	日本語をほとんど使わない英語の授業で、ハードルが高いのではないかと心配していましたが、じっさいには、皆さんが積極的に授業に参加し、毎回発言してくれましたので、個人的にはとても楽しい授業でした。プレゼンテーションもよくできて面白かったです。
近現代文学史 a	棚田輝嘉	毎回の大変な課題提出ご苦労様。 文学史という「膨大な」内容を、毎回文章で説明するという方法だったため、説明不足や急ぎすぎた点があったのかな、と反省しています。後期は、前期のような文学流派や時代などによる文学史区分がない範囲がメインになります。できるだけ工夫して面白い授業にしていこうと思います。
近世文学演習 1	佐藤悟	辞書の信頼性について理解できたことは良かったと思います。
近現代文学史 a	河野龍也	毎回、作品を読んでそれに答える作業は大変だったと思いますが、学習の効果を実感できたという回答を多くいただいて安心しました。対面授業ではなかなか他の学生の答案を紹介する機会がないのですが、オンデマンド授業ではなるべく関心を持って取り組んでいただけるよう、ペンネームつきで答案を紹介することにしました。これも好評でしたので、後期も続けていきたいと思っています。
中世文学史 a	大橋直義	まず、極めて困難な状況にあるなか、多くの皆さんが充実したレポートおよび小テストを提出できたこと、すばらしいものであったと思います。加えて、履修者の多くが2年生であったことを考えるなら、ウェブ上の情報を駆使した上での調査が行なえたこと、さらにすばらしいものであったと思います。授業の内容は、かなり難易度の高いものとなりましたが、その分、今後の学習に余裕が出てくるものと思います。継続した学習を望みます。
近現代文学演習 1	棚田輝嘉	毎回の難しい課題への返答、ご苦労様。 皆さんが思っている以上に、皆さんの実力は向上していると思いますよ。後期は、前期とは違い、「謎解き」になりますが、ここでさらに読解力を磨いてもらおうと思います。 前期以上に、皆さん自身の成長が感じられるような授業にしていきます。
漢文学基礎講読 a	田中靖彦	今学期は対面とオンデマンドが混在する授業となりましたが、授業に対して高評価をいただけて、大変うれしく思います。ふさわしい授業形式については、対面と回答された方と、オンデマンドと回答された方、いずれもいらっしやいました。全員の希望にお応えするのは難しい面もございますが、できるだけ皆様のご意見を取り入れた授業を行ってまいりたいと思います。後期授業も何卒よろしく願い申し上げます。
中世文学演習 1	大橋直義	この授業では、演習を通じて、読解力・調査力を増大させることを目標とするものでした。オンデマンド型の掲示板を利用した演習であったこと、外部の図書館の利用が困難であったことなどのマイナス要因のあるなか、皆さんの学習は目を見張るものであったとすることができます。後期についても同様の精力的な学習を望みます。
Japanese Literature	ブルナ, ルカーシュ	日本語をほとんど使わない英語の授業で、ハードルが高いのではないかと心配していましたが、じっさいには、皆さんが積極的に授業に参加し、毎回発言してくれましたので、個人的にはとても楽しい、面白い授業でした。最後のプレゼンテーションもよくできていました。
国文学概論 a	舟見一哉	授業スピード、説明方法、ともに問題は見受けられず、それに伴って理解度も高いと判断される。自由記述のコメントも、個人的に大変うれしいものが多い。大幅に修正する必要はなく、このまま後期も続けて良いと考える。
近現代文学基礎演習 1	阿部真也	本授業は、本来は対面で行う演習を、今年度に限りオンデマンド形式で実施するものであった。アンケート結果を見るかぎり、発表、および提出されたコメントシートへのフィードバックを、毎回の授業動画を通して十分に行っているようであり、授業の双方向性が対面に近い形で担保されていると判断された。また、動画や資料、授業のスピードなどにも大きな問題は見られなかった。後期の授業も前期と同様に進めていきたいと考えている。
近現代文学研究 a	ブルナ, ルカーシュ	英語と日本語のテキストを扱う授業なので、じっさいに聞いて難しいところもあったと思いますが、コメントやレポートをみると、皆さん、ほんとうによく頑張りました。授業の動画は長いという指摘がありましたので、これからは雑多な情報をなるべく切り捨て、よりさっぱりした授業にしたいと思います。

[2021（前期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
中古文学史 a	舟見一哉	スピード、説明法方法、理解度ともに、ほぼ1か2であることから、大幅な修正は必要ないと判断する。自由記述のコメントからも、好評であったと判断できそうである。
国文学概論 a	棚田輝嘉	全体的に高評価ありがとうございます。 自分の成長を感じられたかどうかで、「4」という人が最大値でしたが、皆さんが思っている以上に、成長したと思いますよ。 なにしろ、毎回のあの課題たちに応えてきたのですから。 後期は、今回の評価を参考に、より成長を実感できる授業をしていきたいと思っています。
日本語文法論 a	福嶋健伸	オンライン授業、しかもリメディアル教育を射程においた古典文法の授業という、極めて苦しい授業であった。しかし、授業準備にかなりの時間をかけたこともあって、当該授業の「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は、平均を上回った。加えて、「この授業を受けることが出来てよかった。文法問題に自信がなくて、でもわかりやすくコースニュースにまとめてくれたのがとても良かったです。細かいところも勉強できて深く追求できたのが良かった!」「みんなの回答を毎回提示してくれるのでいろんな考えを知れてよかった。」「この授業は、文法が苦手なのを少しでも克服したいと感じたからなのですが、自分があやふやにしていた所を埋めるどころか、文法の奥深さなど様々なことを知ることができ、文法を少し好きになることができたと思います。」等の肯定的なコメントがほとんどであり、総合的に考えて、うまくいった授業だと思う。さらには、「文法の参考書を私は疑問を持たずに盲目的に信じていました。参考書が曖昧な事に目を逸らすことを目を逸らさない、しっかりと受け止めたいと思います。」という方向でのコメントもあり、授業の要点は伝わっていると思われる。来年度もこの方法を継続したい。一方、授業準備の時間があまりに多く、この点は課題といえる。
国語学概論 a	三好伸芳	授業形態は対面、リアルタイム型の遠隔、オンデマンド形式と変更が続いたが、遠隔でも大きな問題は生じなかった。遠隔授業についても「双方向であっても質問のしやすい環境だった」などのコメントがあり、一定の教育効果があったと考えられる。引き続き学生側の負担が最小限になるよう、授業形態についてしっかりと計画を立てながら取り組んでいきたい。
近現代文学演習 1	河野龍也	オンデマンド型の演習で不安に思った方もいるかも知れませんが、毎回よく取り組んでくれました。発表準備と出席コメントを期限内に提出するのは大変だったと思います。ただし、その分フィードバックも充実させることができましたので、対面授業に劣らぬ効果があったと思います。後期も引き続き、作品から問題点を取り出し、熟考する練習を重ねて行ってください。
近代文学基礎講読 a	棚田輝嘉	授業評価ありがとうございます。 詩が対象だったこともあり、また、私自身の説明が難しかったり、足りない点があったようで、反省しています。 対面ではない詩の教授法について、今後さらに工夫をしていきたいと思います。
特殊演習 1	河野龍也	感染対策のためZOOM中心のゼミとなりましたが、就職活動中でも参加しやすく、オンライン授業なりのメリットはあったかと思っています。対面のようにゼミ生どうしの交流が持てないのが残念です。後期に向けて方策を話し合ってみたいと思います。
特殊演習 1	棚田輝嘉	回答ありがとうございます。 人数がすくないので全体の皆さんの感想はわかりませんが、ただ、まだまだ工夫の余地がある授業だと、改めて認識しました。 後期は、さらなる工夫をしていこうと思います。
特殊演習 1	山内博之	昨年度から、ほぼオンデマンドでの卒論指導が続いています。個別に細かくケアできるのはいいことなのですが、仲間から得る気づきがないのは望ましいことではありません。 前期の後半、対面での授業の際に、グループワークを行なったのですが、今後は、教師による指導はmanabaで行ない、教室では仲間とのコミュニケーションで気づきを得る、というような方針で進めようかと考えています。
特殊演習 1	田中靖彦	今学期は対面とオンデマンドが混在する授業となりました。授業に対してはおおむね高評価をいただけまして、大変うれしく思います。後期授業は卒論執筆がメインとなりますが、ひきつづき何卒よろしく願い申し上げます。
文学散歩プロジェクト	棚田輝嘉 湯浅茂雄	実地踏査ができないという状況で、大変残念です。 ただ、皆さんが授業を通して学んだこと、また、今後完成するパンフレットを参考に、個人や友人と、コロナが収まったら、実際に歩いてみてください。 我々教員も、可能な限り（希望者を募ってという形になります）実行の可能性を探っていききたいと思います。 やっぱり、歩かないと満足はできないよね。
特殊演習 1	佐藤悟	無回答ですので、特に何もありません。

[2021（前期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
日本語の音声	山内博之	<p>この授業は、「音声を教える」という性質上、やはり「対面」の方がいいの だろうと思います。実際、受講生からのコメントにも「対面」の方がよかつ た、というものがありません。 特にアクセントは、「高」「低」など書くだけではわかりにくく、実感が わかなかつたかもしれません。 ごく短い音声ファイルを添付するだけでも、理解度が変わるかもしれないの で、今学期の反省を今後に活かしたいと思います。</p>
仮名書法 1	伊藤文生	<p>厳しい環境にあつて、この科目として本来の十分な取り組みができなかつ た。にもかかわらず、受講生は各自それぞれに工夫努力して下さつたこと にまず感謝したい。 受講生の自己評価および感想を見ると、およそ以下のとおり。 ・変体仮名を毎回の授業で勉強していたため、ある程度読めるようになった と思う。 ・かな文字をたくさん練習できた。 ・仮名に対する知識は勿論、そこから派生した知識や仮名書道の歴史なども 学ぶことができた。授業を受ける前までには、なかなか仮名書道への理解は できなかったが、受講したことで少し理解できた気がする。 ・様々な文字の特徴を学ぶことができた。字母やくずし字の学習も進めるこ とができ、くずし字を書く力だけでなく読む力も身につけることができた。 ・異体仮名が読めるようになった。また、点画の繋がりを意識して異体仮名 を書けるようになった。</p> <p>・仮名を書く力が身に付いた。 ・異体仮名をスラスラ読めるようになりました。 ・現代の文字と崩し文字の形態の違いについて結びを得られた事が強みに なつたと思います。 ・仮名と仮名書道についての理解が深まつた。 ・オンデマンドでも十分満足のいく授業であつた。 ・自分でひたすら練習できるので双方向でも悪くはなかつたです。 ・集中力があがつた。字を丁寧に書こうという気持ちが高まつた。 ・異体仮名に触れてとても感動したし、綺麗に字が書けるようになってきて 嬉しい ・双方向や対面など、様々な形で受講したがどの形態でもわかりやすく、自 分なりに学びが深められた</p> <p>***** DVDの活用ほか、おおむねは好評であり、それなりの意義はある授業であつ たとはいえるだろう。ただ、「文字をもう少し書かせてもいいのではない か」という指摘があり、練習を促すべく指導すべきであつたと反省する。</p>
有職 a	高倉永佳	<p>コロナ禍の影響により、今年も対面やZoomでの授業になり、学生の皆様は昨 年に引き続き大変だつたと思います。 そのような中でも、柔軟に対応し、積極的な質問や発言などから授業に対す る前向きな姿勢を強く感じました。 また、6月に予定していた校外実習（装束着装披露の見学）に関してもコロナ 禍の情勢により中止になりました。 授業の目的を感覚的に把握する観点から、座学以外に実際の装束を見て、文 様・色目・生地の織りなどに触れることがとても重要であり、そのような機 会がなくなったことは大変残念でした。 しかしながら、授業に対する姿勢や取り組み方、積極性などを鑑み、総合的 にとても評価に値する授業が成立したと考えています。大変お疲れさまでし た。 後期の授業まで呉々も留意し、9月の授業で会えることを楽しみにしていま す。</p>
特殊演習 1	ブルナ、ルカーシュ	<p>前期は、就活で忙しく研究がなかなか思うように進まない人も多かつたので はないかと思いますが、これからは、研究に心血を注ぎ、いい卒業論文を書 いてください。</p>
日本語教育文法-初級-	山内博之	<p>オンデマンドの授業だと、伝えたいことをすべて資料に込めることができ る、という良さがあります。また、期末テストの勉強は、対面よりオンデマ ンドの方がやりやすいかもしれません。 しかし、受講生たちと顔を合わせないのは、何とも寂しいですね…。 オンデマンドの良さを活かしつつも、受講生たちとコミュニケーションがで けるような方策を何か考えたいと思います。</p>

[2021（前期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
仮名書法 1	伊藤文生	<p>厳しい環境にあつて、この科目として本来の十分な取り組みができなかった。にもかかわらず、受講生は各自それぞれに工夫努力して下さったことにまず感謝したい。</p> <p>受講生の自己評価および感想を見ると、およそ以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変体仮名を毎回の授業で勉強していたため、ある程度読めるようになったと思う。 ・かな文字をたくさん練習できた。 ・仮名に対する知識は勿論、そこから派生した知識や仮名書道の歴史なども学ぶことができた。授業を受ける前までには、なかなか仮名書道への理解はできなかったが、受講したことで少し理解できた気がする。 ・様々な文字の特徴を学ぶことができた。字母やくずし字の学習も進めることができ、くずし字を書く力だけではなく読む力も身につけることができた。 ・異体仮名が読めるようになった。また、点画の繋がりを意識して異体仮名を書けるようになった。 <p>・仮名を書く力が身に付いた。</p> <p>・異体仮名をスラスラ読めるようになりました。</p> <p>・現代の文字と崩し文字の形態の違いについて結びを得られた事が強みになったと思います。</p> <p>・仮名と仮名書道についての理解が深まった。</p> <p>・オンデマンドでも十分満足のいく授業であった。</p> <p>・自分でひたすら練習できるので双方向でも悪くはなかったです。</p> <p>・集中力があがった。字を丁寧に書こうという気持ちが高まった。</p> <p>・異体仮名に触れてとても感動したし、綺麗に字が書けるようになってきて嬉しい</p> <p>・双方向や対面など、様々な形で受講したがどの形態でもわかりやすく、自分なりに学びが深められた</p> <p>*****</p> <p>DVDの活用ほか、おおむねは好評であり、それなりの意義はある授業であったとはいえるだろう。ただ、「文字をもう少し書かせてもいいのではないか」という指摘があり、練習を促すべく指導すべきであったと反省する。</p>
日本語教育学演習 1	山内博之	<p>毎回、ある程度の分量の宿題を出していたのですが、熱心に取り組んでくれる学生がとても多かったと思います。</p> <p>それらをすべて読んだ上で講義資料を作るのはなかなか大変ではあったのですが、みなさんが熱心に課題に取り組んでくれ、また、とても面白い回答が多かったので、おかげさまで、私もファイトがわきました！！</p> <p>しかし、67名も受講生がいる演習科目は、どのように行なうのがベストなのでしょう？</p> <p>試行錯誤しながら、ということになってしまいますが、後期も頑張りたいと思います…。</p>
特殊演習 1	湯浅茂雄	<p>今後も授業の改善に努力していきます。評価をありがとうございました。</p>
中古文学研究 a	舟見一哉	<p>自分の成長を実感できなかったという解答がある点が問題である。できるかぎり主体性を育むように工夫したつもりであったが、十分ではなかったことを反省している。また回答数が少ない点は後期に速やかに改善したい。</p>
中古文学演習 1	舟見一哉	<p>説明がわかりやすいやすいか、という項目に、「2」が目立つ点が気がかりである。ゼミに準じる講義として、今期もっとも力を入れた講義であったが、どの点がわかりにくかったのか、学生と直接対話しながら、改善していきたい。</p>
国語学演習 1	福嶋健伸	<p>オンライン授業、履修者102名という、極めて苦しい中での授業であった。しかし、授業準備にかなりの時間をかけたこともあって、当該授業の「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は、平均を上回っている。かつ、「卒論や就活など目前にあるやるべきことについて理解し、行動に移すことができた。」「理論的に考える力が身に付いた」「論文の書き方や見方など積極的に学ばないと学ばないことがありよかった。」等の肯定的なコメントがほとんどであり、総合的に考えて、うまくいった授業だと思う。来年度もこの方法を継続したい。</p>
漢文学基礎講読 a	田中靖彦	<p>今学期は対面とオンデマンドが混在する授業となりました。授業に対しては大変に高い評価をいただけまして、とてもうれしく思います。いっぽうで、この分野をさらに学びたいと思う方がやや少なめであったことは、本授業で漢文学の面白さをお伝えするのが足りなかったと反省しております。ふさわしい授業形式については、対面と回答された方と、オンデマンドと回答された方、いずれもいらっしゃいました。全員の希望にお応えするのは難しい面もございますが、できるだけ皆様のご意見を取り入れた授業を行ってまいりたいと思います。後期授業も何卒よろしくお願い申し上げます。</p>
特殊演習 1	大橋直義	<p>この授業の狙いは、卒業論文執筆に向けた調査能力を演習を通じて増大させることにあつた。履修者からのアンケート回答はなかったが、個別に意見を聴取し、改善に努めている。</p>
中世文学研究 a	大橋直義	<p>この授業では、中世文学に関連する様々な資料を精読することで、履修者の興味関心を増大させることを目標としていました。アンケートではおよそ6割強の皆さんが成長を実感したとされていますが、提出された期末レポートを読むに、さらに多くの皆さんが充実した学習を積んでいたことが分かります。今後もより充実した学習を継続されることを望みます。</p>

[2021（前期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
中世文学基礎演習 1	大橋直義	この授業では、演習を通じて、古語・古典文法に精通し、読解力を高めることを目標としていました。本来ならば、演習授業はオンタイムで行って初めて成果が得られるものでありながら、オンデマンド型の掲示板を用いた演習授業という制約の中で、日々の成長を確かめることができました。後期についても同様の努力を望みます。
中国文学演習 1	田中靖彦	本授業は全てオンデマンドでの実施となりましたが、いただいた評価およびコメントを拝見いたしますと、多くの方にご満足いただけたようで、大変嬉しく思います。後期授業も引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。
近現代文学演習 1	ブルナ, ルカーシュ	少人数の授業で、いろいろ大変だったと思いますが、皆さん、よく頑張りました。後期も頑張ってください。
日本文学史 a	佐藤悟	コロナが早く終息するといいですね。大学の授業の基本は対話をして考えることです。
特殊演習 1	福嶋健伸	コロナ禍で18名の卒論指導という、極めて苦しい状況での授業であった。manabaやzoomなどを利用しながら、できる限り丁寧にフォローをして授業を進めた結果、当該授業の「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は、平均を上回った。後期も丁寧な授業展開を心がけたいと思う。一方、コロナ禍においては、卒論提出の方法（製本後、来校して現物を提出）には、再考の余地があるように思われた。
国文学概論 a	佐藤悟	秋学期はスピードを緩めて授業をします。判らないときは授業を止めてください。